



「耳鳴りが治りにくい場合には」

耳鳴りを自覚したことはありますか？一時的なものから持続するもの、日によって症状が変化するものなど、耳鳴りには様々なパターンがあります。日常生活において持続する耳鳴りを感じている人は人口の10～15%、生活に支障がでるほどの苦痛の強い耳鳴りを感じる人が2～3%であると推定されています。

耳鳴りが自然に消えたり、ほとんど気にせずに生活できている人はたくさんいます。しかし、治りにくく、悪化していく人もいます。耳鳴りそのものが原因で不安やうつが生じ、耳鳴りをますます気にしやすくなり、その結果、耳鳴りが悪化し、治りにくくなっていきます。もともと睡眠障害（不眠症）、うつ、うつ状態、不安神経症などの精神疾患を有する方では、耳鳴りによって状態が悪化してしまいます。耳鳴りと精神症状の負の連鎖による悪循環に陥ってしまうと大変です。耳鳴りだけにアプローチするのではなく、睡眠やうつ、不安などに対する専門家による介入が望ましいといえます。耳鳴りに対する漠然とした「怖いイメージ」は、耳鳴りについての正確な知識、理解を得ることで克服することができます。まずは耳鼻咽喉科で相談し、自分の聴力や耳鳴りの状態について理解することが大切です。必要があれば、精神科や心療内科の専門医による治療を受け、耳鳴りに苦しまない生活を手に入れましょう。

オギジビ 豆知識



オギジビの年内営業は**12月29日（水）午前まで**となります（最終受付は11：50です）。年始は**1月5日（水）**からとなります。**12月29日午後～1月4日まではお休み**をいただきます。気になる症状があれば、早めの受診をお願いします。また、処方薬が足りなくならないように、お手元の薬の量をご確認くださいね。よいお年をお迎えください。

オギジビの輪

- お友達・お知り合いに、是非おぎはら耳鼻咽喉科をご紹介ください。
- 神奈川県では珍しい、言語聴覚士のいる耳鼻咽喉科です。難聴や補聴器については大学病院レベルの診察・検査体制を整えています。
- ちょっとした不安の解消から専門的な診察まで、幅広く行っています。